

---

**第 152 回松本歯科大学大学院セミナー**

**日 時:** 2007 年 10 月 2 日(火) 17 時 30 分~18 時 30 分

**場 所:** 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

**演 者:** 穂坂 一夫 氏 (本学大学院健康増進口腔科学講座・准教授)

**タイトル:** 歯科恐怖症における臨床と研究の最前線を経験してきて

私は、2005 年 6 月より 2007 年 5 月までの 2 年間、University of Washington, Department of Dental Public Health Sciences, Dental Fear Research Clinic へ留学させて頂いた。この間の研究内容、臨床での経験や感想等について報告させて頂く。

ここ、Dental Fear Research Clinic は 1981 年に Milgrom 教授、Weinstein 教授らにより設立された。そこでは、臨床心理学者が初診の患者様を診察し、心理学者と歯科医師、歯科衛生士、歯科助手でチームを作り日々治療を行っている。歯科恐怖症患者様に対して歯科治療を行う場合には、行動変容法など心理学的な技法を応用して、歯科治療に対する恐怖心を軽減させて行く方法がある。しかしながら、非常に恐怖心が強い場合心理行動科学的なアプローチだけでは、簡単にその恐怖心を軽減させることができない場合もある。このような場合には、薬剤を応用した精神鎮静法が必要となる。Dental Fear Research Clinic においては、この精神鎮静法に関して安全で確実に効果が得られる方法を臨床心理学者も交え、同大学 Department of Oral Medicine と共同で研究が進められてきている。私は、この共同研究に参加致しました。本共同研究は、薬剤が記憶という心理学的側面にどのような影響を与えているかという評価や、薬剤の血中濃度の推移などの薬理的な評価、安全性に関する評価など広範囲に行われており、歯科臨床への応用について検討を進めている。